

実施団体	特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会
事業名	「森のちからⅫ・森と響く」
事業目的、内容	<p>アーティストの滞在制作により、普段見慣れた風景に心が動く。そんな森からのメッセージを感じて欲しいと願いプロジェクト名を「森のちから」とした。</p> <p>大矢りか氏の作品を前に参加者たちの心の動くさまを目の当たりにした。</p> <p>北海道大学院生たちのまっすぐな好奇心、子どもたちの楽しい表情に森の文化的資源の未来に期待が持てると確信した。何より、アーティスト自身制作する愉しさを再び取り戻したこと、まさに”熊野の森”は再生させる力があるのだと感銘した。</p> <p>・参加人数 318 名 (小学生並びに一般参加)</p>

◎芸術家による公開作品展示



◎森の中のアート・ツアー



芸術家の滞在制作による作品：「水を集めて、苔の舟は再生した」

作品の前で、芸術家から制作への思いを聞く参加者たち

森が育む「アマゴの生態」を聞く



◎学校訪問ワークショップ



芸術家と一緒に普段体験できないアート体験：「自分の体が森だったら」森になった自身を想像して夢中！



「未知の生き物をつくろう」植物や蔓で生き物づくりに挑戦！

◎「語り場」



再生した古い劇場で、芸術家、樹木医など地域で活動する人たちが「森との関わり」について語る

